

業績説明会資料

経営の現況について

2016年5月24日

 **日油** 株式会社

本日の報告内容

■ 2016中期経営計画

■ 2016中期経営計画の進捗状況

2016中期経営計画 (2014年度～2016年度)

日油グループの目指す分野

ライフサイエンス分野

電子・情報分野

環境・エネルギー分野



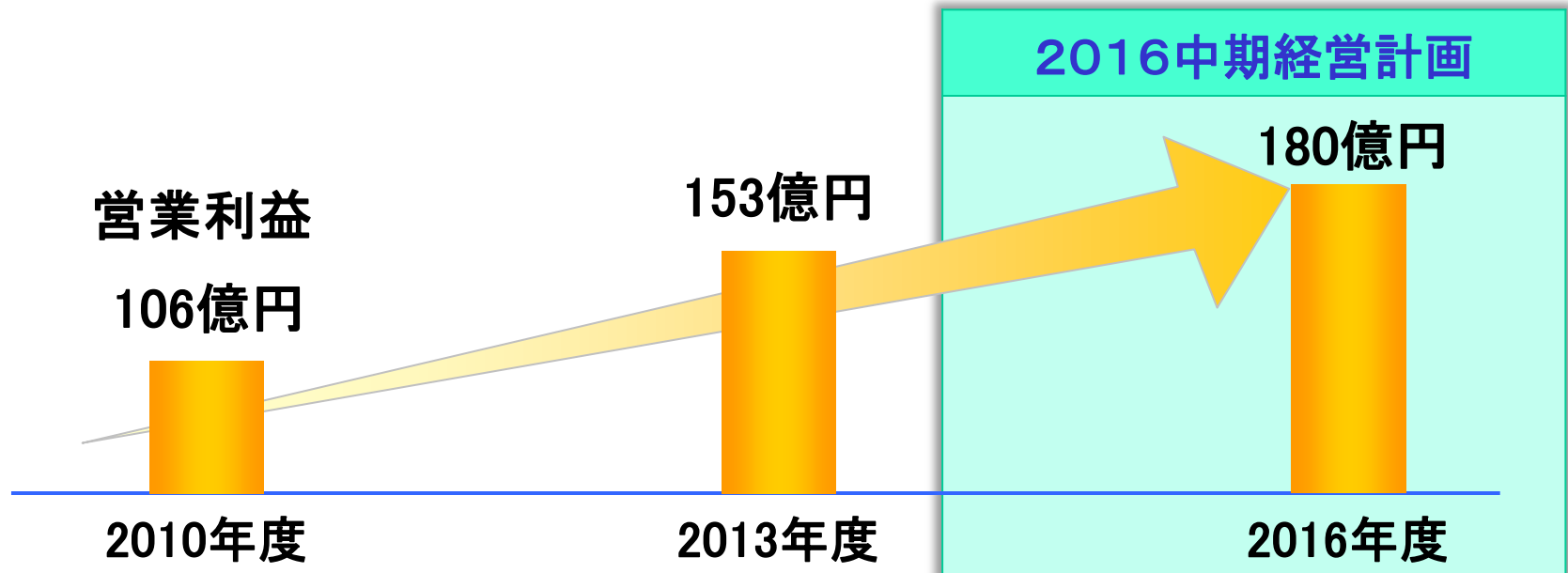
コア技術

新技術の開発

日油グループの目指す姿

－ ビジョン(ありたい姿) －

ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギー、3分野において
独創性のある製品を提供し続けることによって人と社会に貢献し、
持続的に成長・発展する企業グループ



2016中計の基本方針

2013中計の成果を更に推し進め、

「新たな成長軌道」を切り開く

グローバルな地産地消に対応したサプライヤーへ

基本 方針	新製品・新事業開発の加速
	海外事業展開の拡大
	経営体質の更なる強靱化
	戦略的組織への改編

2016中期経営計画の進捗状況

2016中期経営計画の進捗状況

1. 日油グループを取り巻く事業環境予測
2. 売上高・営業利益推移
3. 重点施策（研究部門・営業部門・生産部門）
4. セグメント別差別化製品
5. 設備投資計画
6. 経営指標

1. 2016年度 日油グループを取り巻く 事業環境予測

【国内】

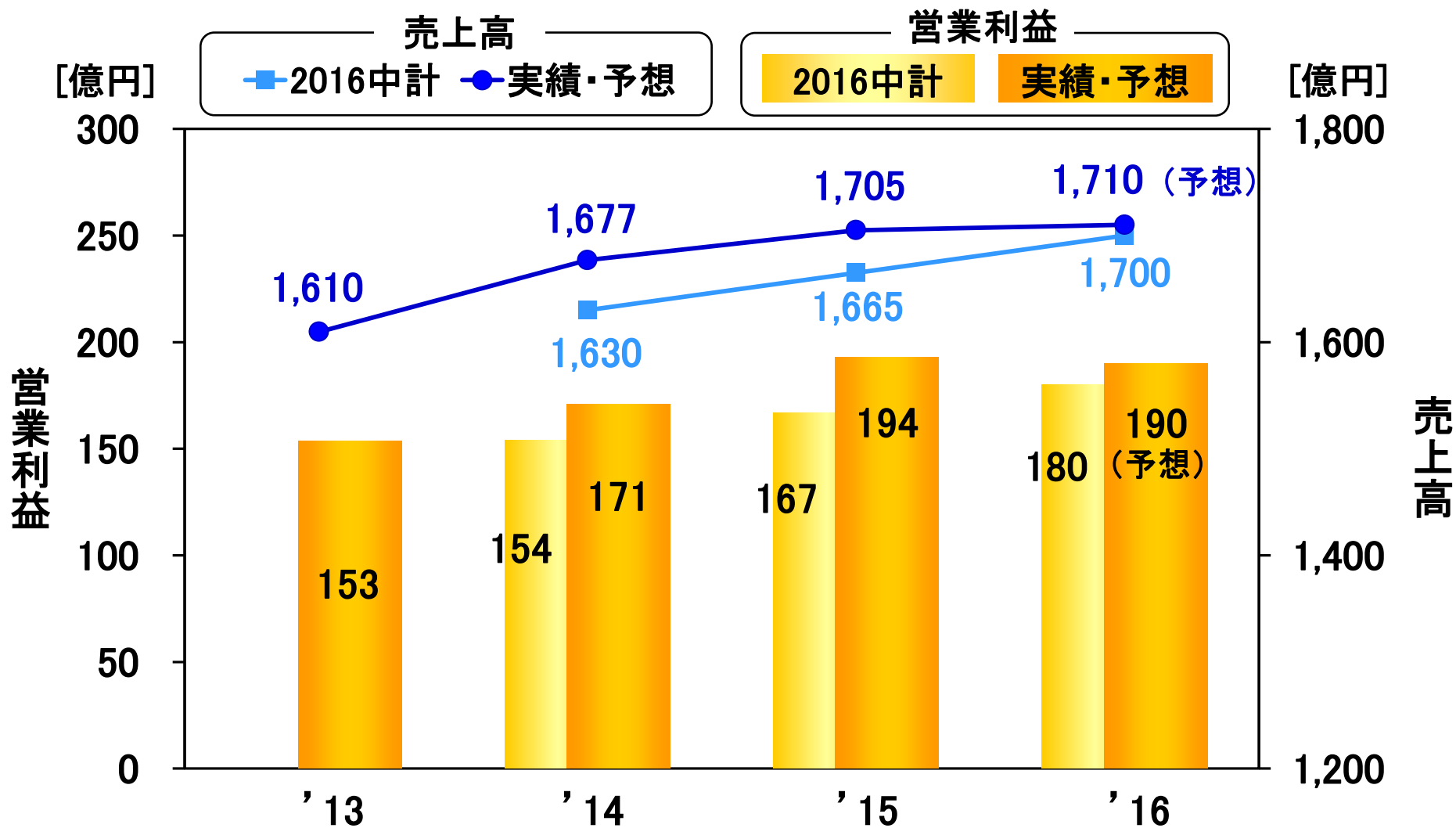
- 緩やかな回復基調継続
- 円高による輸出低迷
- 個人消費の伸び悩み
- インバウンド需要継続

【海外】

- 米国経済は回復基調
- 欧州財政問題
- 中国、アジア新興国の成長鈍化
- 原油価格低迷による資源国景気停滞

		2016中計 (設定)	2015年度 (実績)	2016年度 (想定)
パーム油 (FOBマレーシア)	US\$/MT	800	578	660
国産ナフサ	円/KL	65,000	42,800	37,000
為替レート	円/US\$	100	121	112
	円/EUR	130	134	125

2. 売上高・営業利益の推移



3. 重点施策

3-1. 研究部門

3-1. 研究部門

重点施策	2016中計 計画	2015年度 実績	2016年度 実行計画
産官学との連携・ 技術導入促進	共同研究： 新規テーマ拡大	(1)共同研究 52件 (2)産官学 への派遣	(1)研究テーマ件数の拡大 (2)産官学への派遣継続
研究開発体制 の強化	(1)ライフサイエンス 分野の研究開発 シナジー創出 ・新規素材の探索、 開発強化 (2)研究要員の増強 2016年度 対2013年度 +10%	(1)研究開発者の海外 派遣を含めた広範囲 のローテーション (2)研究要員 新規採用 22名	(1)若手研究開発者の 海外派遣 (2)研究要員 2016年4月現在 対2013年度 +6% 新規採用 33名
研究開発費 (売上高比率)	2016中計期間累計 216億円 (4.3%)	15年度 68億円 (4.0%)	2016中計期間累計 205億円 (4.0%) 16年度 69億円 (4.0%)

3-1. 研究部門

産官学との連携

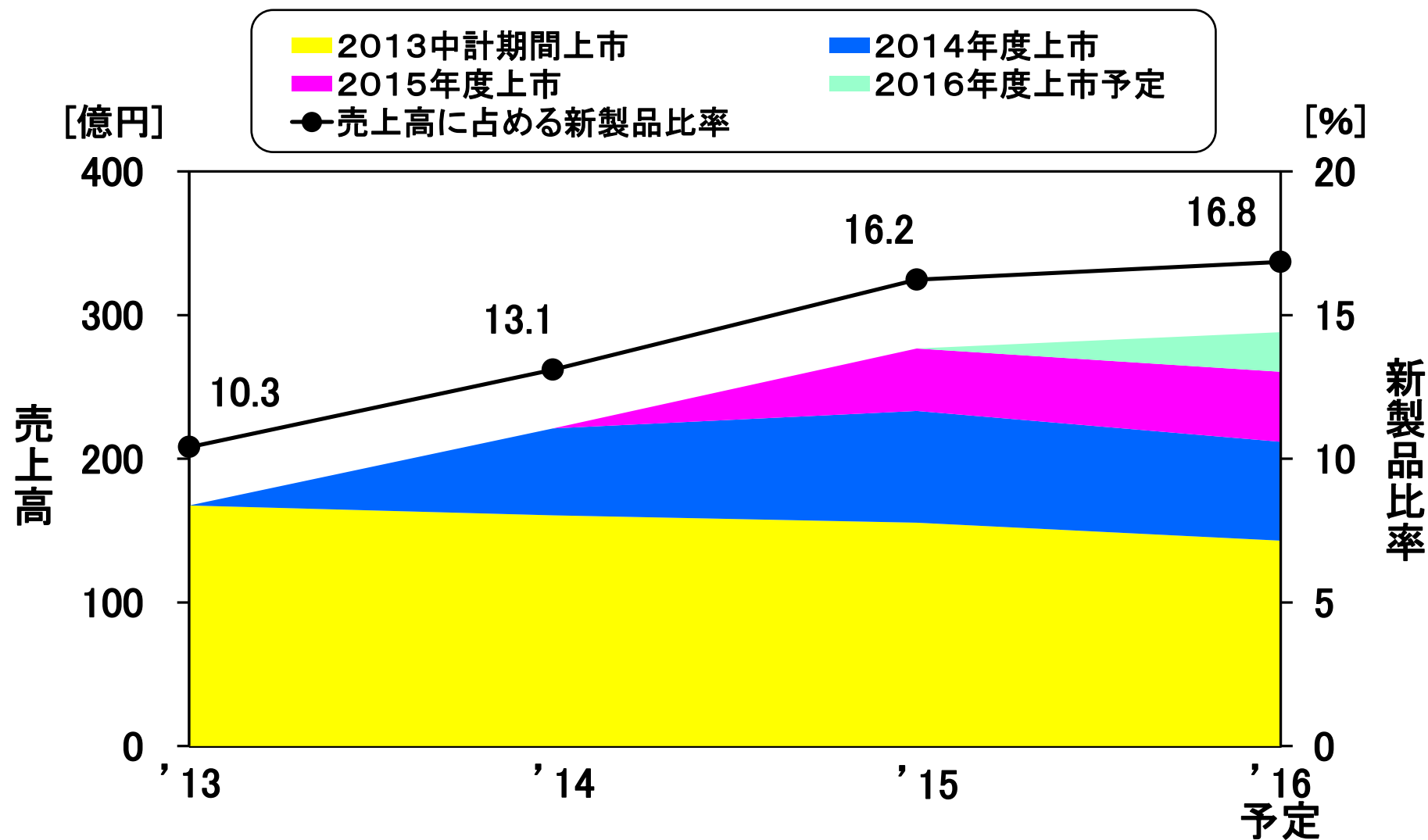
＜2015年度 連携事例＞ 2015年度総件数：52件

共同研究先	概要	分野
徳島大学	粘膜細胞の保護効果に関する研究	ライフサイエンス
北海道大学	細胞内環境応答性素材の研究	ライフサイエンス
産業技術 総合研究所	機能性インキに関する基盤的研究	電子・情報
大阪大学	特殊樹脂と金属の接合に関する検討	電子・情報
海外	UCLA(米)・パドバ大学(伊)他	

2013中計期間：143件

2014、2015年度合計：91件

新製品による売上高



3. 重点施策

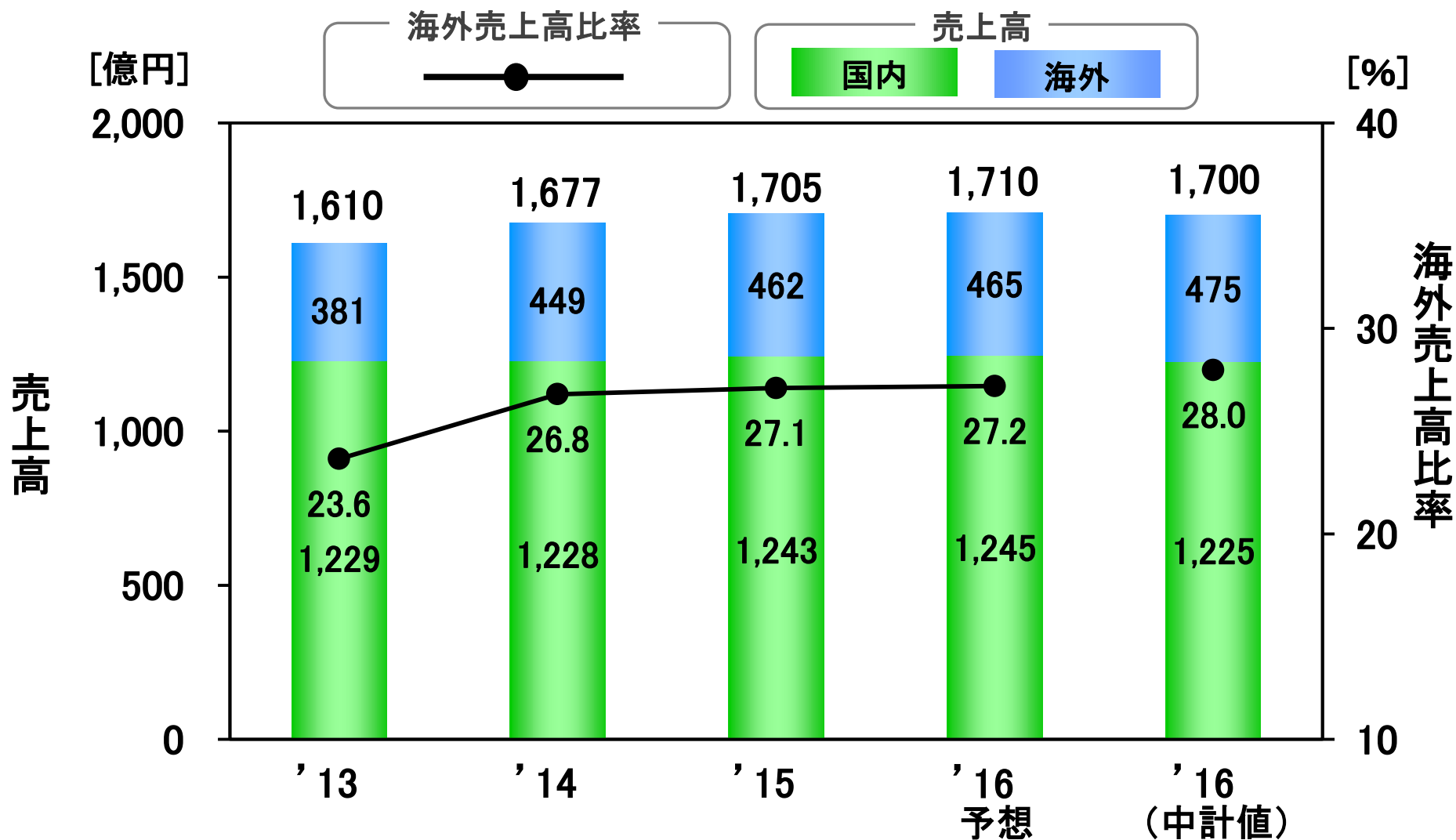
3-2. 営業部門

3-2. 営業部門

重点施策	2016中計 計画	2015年度 実績	2016年度 実行計画
営業体制の 強化	<p>(1)2014年4月化粧品原料製品の営業統合</p> <p>(2)海外営業要員増強 2016年度 対2013年度 +15%</p>	<p>(1)化粧品原料製品 売上高 対2013年度 +20%</p> <p>(2)海外営業要員増強 営業要員 対2013年度 +22%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルスタッフの増員 	<p>(1)化粧品原料製品 売上高 対2013年度 +24%</p> <p>(2)海外営業要員増強 営業要員 対2013年度 +25%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手海外要員の起用
海外営業 ネットワーク 強化	<p>(1)営業ネットワークの再編、拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ(フランクフルト)販売会社営業開始 2015年1月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム(ホーチミン)販売会社営業開始 2016年4月

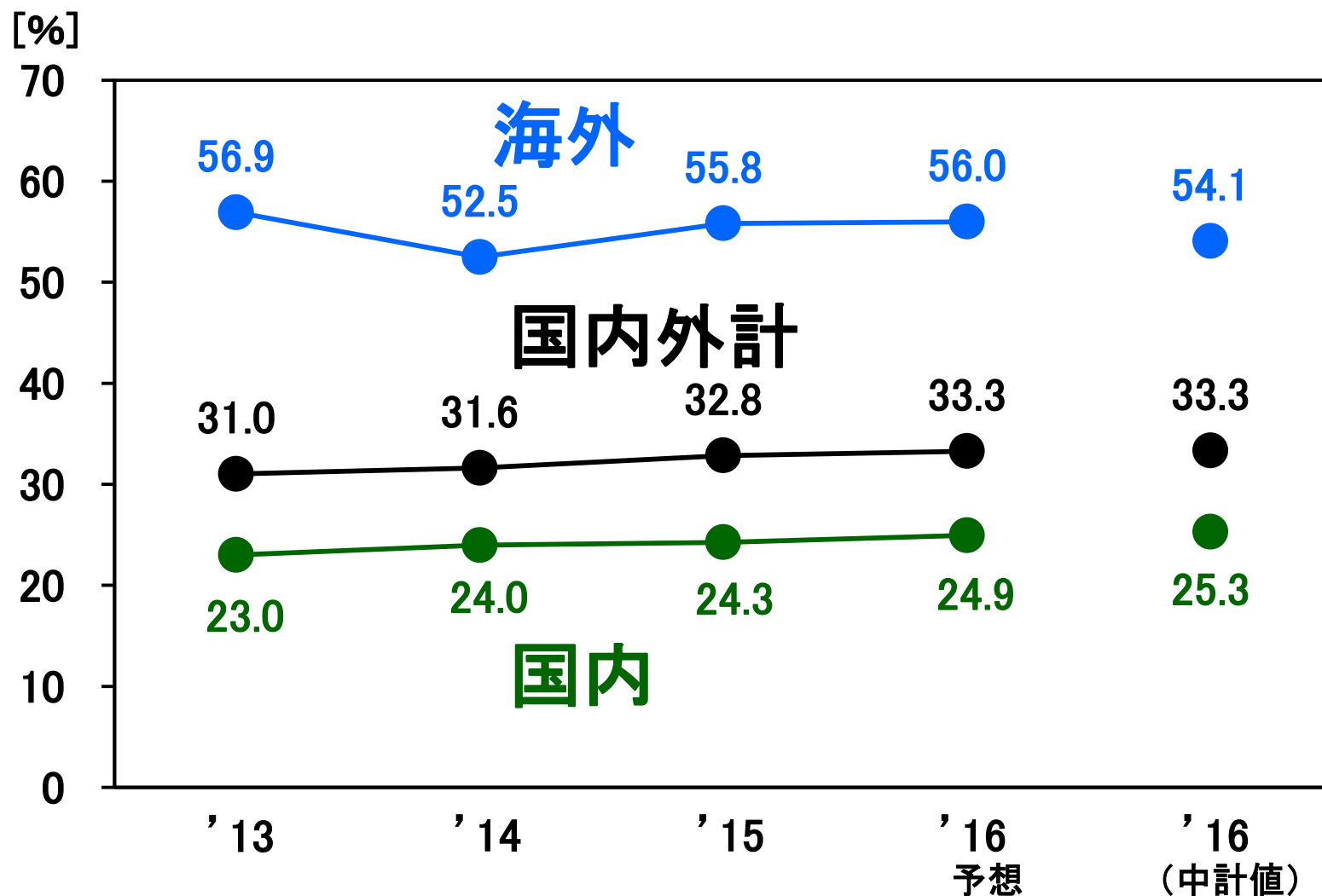
3-2. 営業部門

国内・海外の売上高の推移



3-2. 営業部門

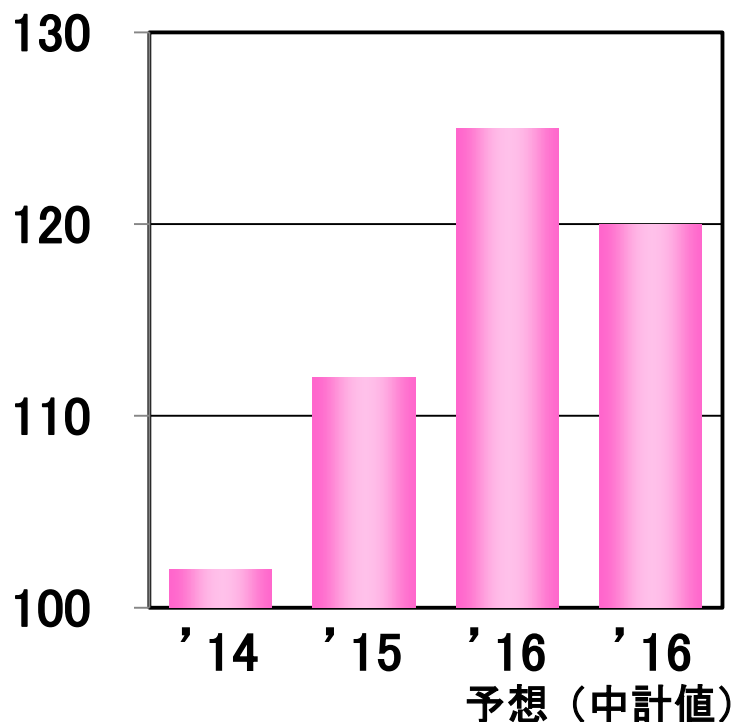
高機能・高付加価値製品売上高比率



3-2. 営業部門

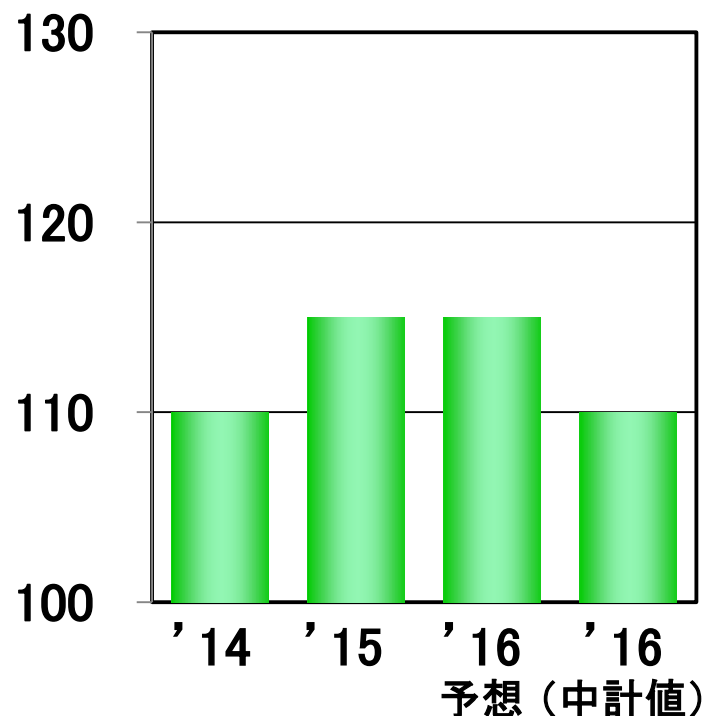
高機能・高付加価値製品の海外拡販状況

(2013年度売上高=100)



欧米

ライフサイエンス分野



アジア

環境・エネルギー分野

海外向け戦略製品

分野	製品	市場
ライフサイエンス	医薬用: DDS素材	欧米
	医薬用: 核酸治療用脂質	欧米
	アイケア用: コンタクトレンズ材料	欧米
電子・情報	複写機用: トナーワックス	中国・アジア・欧米
	液晶用: カラーフィルター保護材	中国・台湾
環境・エネルギー	環境対応型製品: 冷凍機用潤滑剤	中国・アジア
	自動車用部品: 防曇剤	中国・アジア・欧米
	自動車用部品: 耐擦傷性改良剤	中国・アジア・欧米
	自動車用部品: 特殊防錆処理剤	中国・北米

3. 重点施策

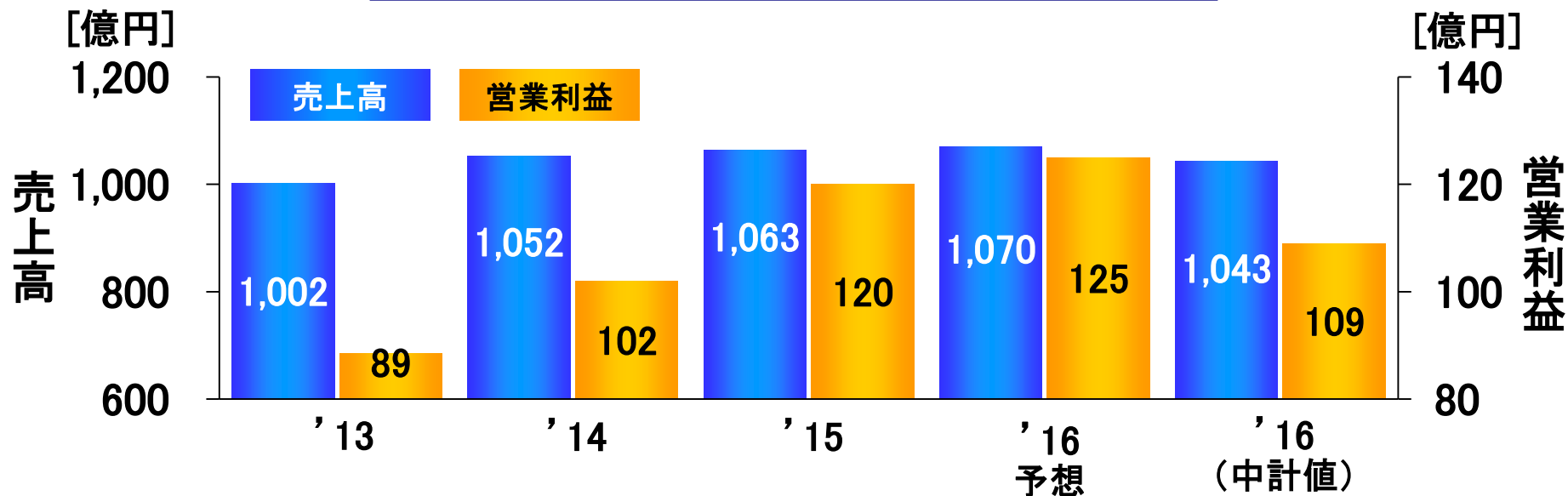
3-3. 生産部門

3-3. 生産部門

重点施策	2016中計 計画	2015年度 実績	2016年度 実行計画
供給体制 の強化	<p>(1)生産能力増強</p> <p>(2)海外需要に対応し 供給体制を強化</p>	<p>(1)生産能力増強 ・環境・エネルギー分野 製造設備の増強</p> <p>(2)海外需要に対応し 供給体制を強化 ・ライフサイエンス分野 欧州での供給体制検討 ・防錆部門 中国での供給体制検討</p>	<p>(1)生産能力増強 ・ライフサイエンス分野、 環境・エネルギー分野 に重点投資</p> <p>(2)海外需要に対応し 供給体制を強化 ・ライフサイエンス分野 欧州での供給体制構築 ・防錆部門 中国での供給体制構築</p>
生産性の 向上	<p>(1)労働生産性の向上</p>	<p>(1)労働生産性の向上 対2013年度 +13%</p>	<p>(1)労働生産性の向上 対2013年度 +16% ・環境・エネルギー分野 への合理化投資</p>

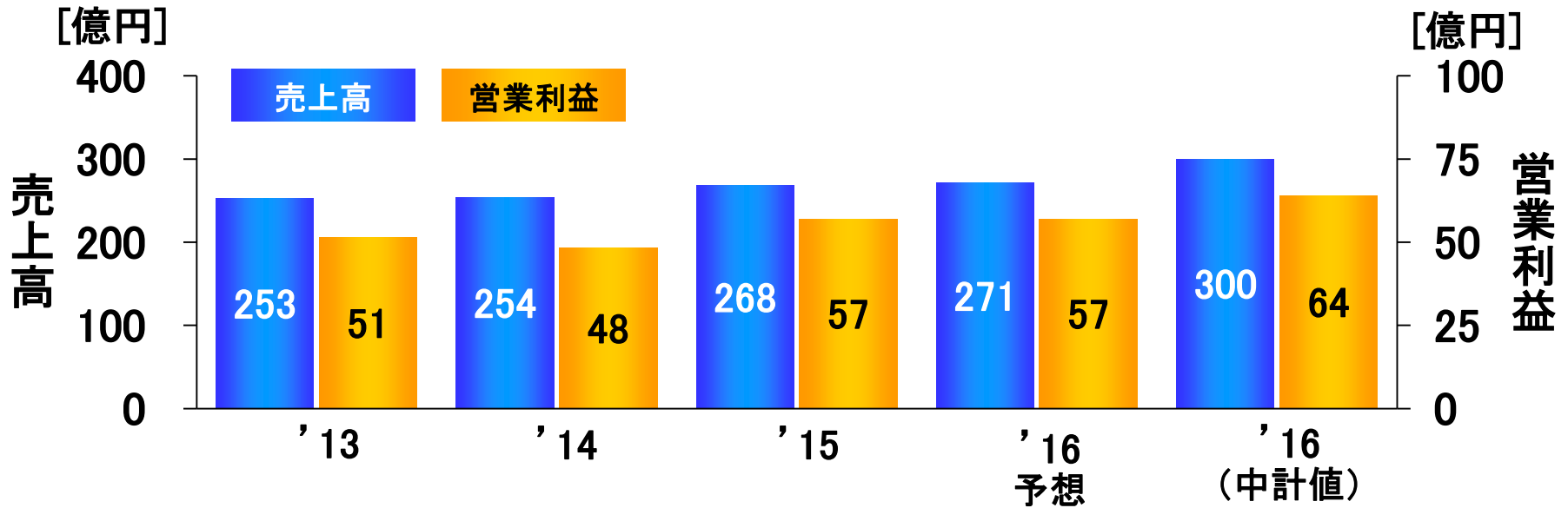
4. セグメント別差別化製品

4-1. 機能化学品セグメント



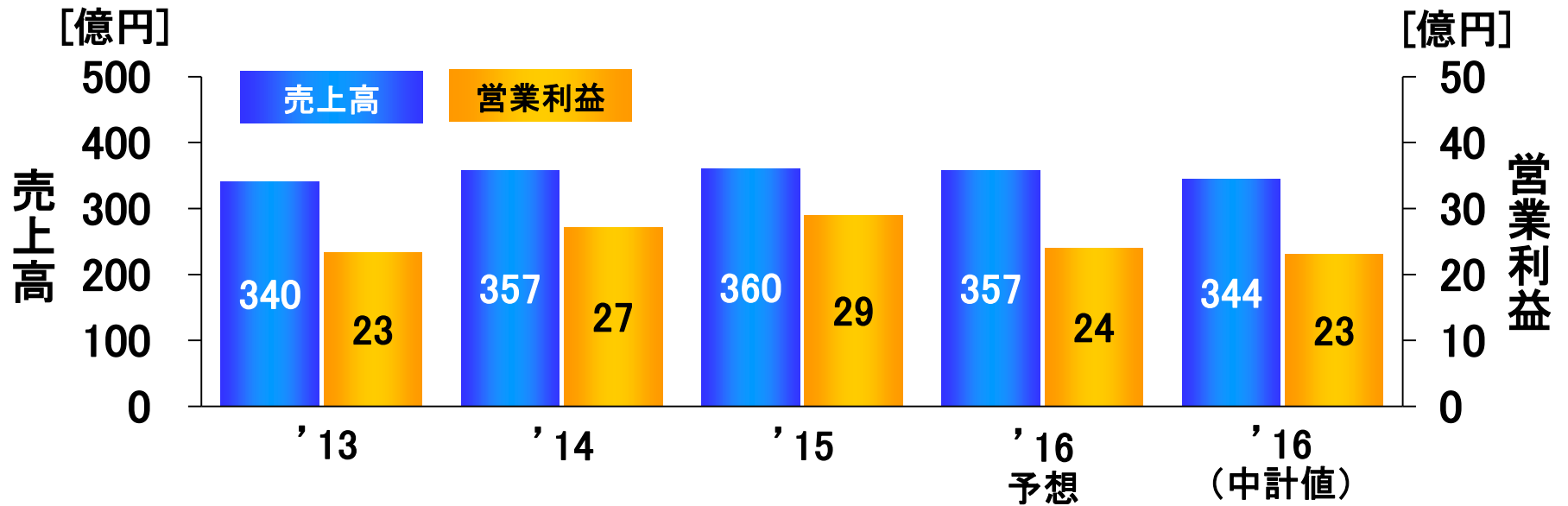
製品群名	機能・特徴	差別化製品
➤ 脂肪酸誘導体	低温定着、省エネルギー	トナー用高性能添加剤
➤ 界面活性剤	低刺激、高保湿	低刺激性アミノ酸活性剤
➤ 機能性ポリマー	防曇性能向上	リアランプ用防曇剤
	耐擦傷性、摺動性向上	耐擦傷性、摺動性改良剤
➤ 金属防錆処理剤	クロムフリー	水系防錆処理剤

4-2. ライフサイエンスセグメント



製品群名	機能・特徴	差別化製品
➤ 食用加工油脂	食感改良、生地老化防止	製菓・製パン用機能性油脂
➤ MPC	保水力向上	コンタクトレンズ材料
	抗血栓性	メディカルデバイス用素材
➤ 活性化PEG、リン脂質	薬物送達効率向上	抗体・核酸医薬用素材

4-3. 化薬セグメント



製品群名	機能・特徴	差別化製品
➤ 産業用爆薬関連類	低振動、非火薬	非火薬破碎薬剤
➤ ロケット関連製品	高推進力	ロケット用推進薬
➤ その他	安全性、簡便操作	防犯・防災装置

5. 設備投資計画

設備投資計画

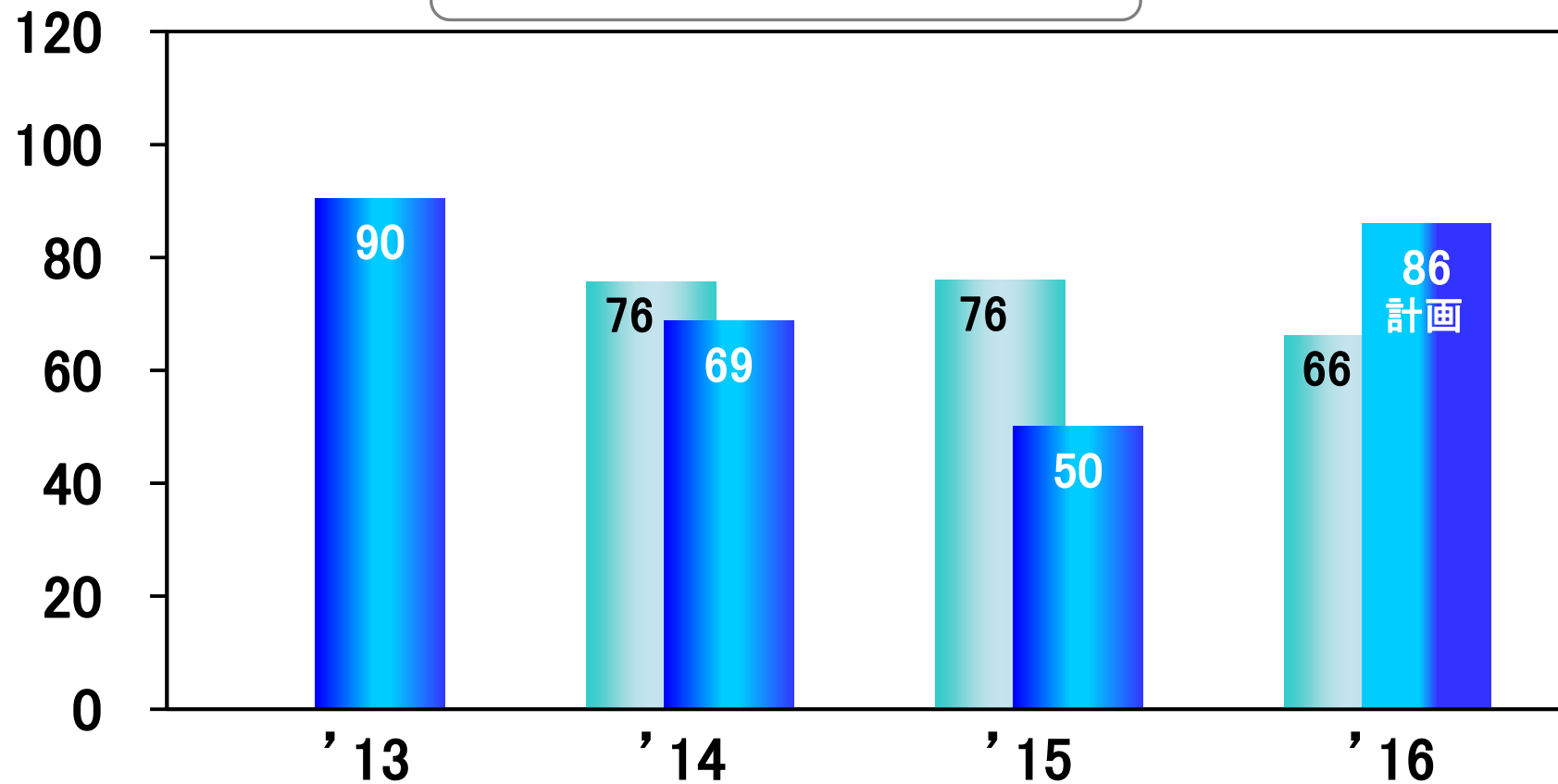
設備投資額

[億円]

2016中計

実績・計画

(検収ベース)



6. 経営指標

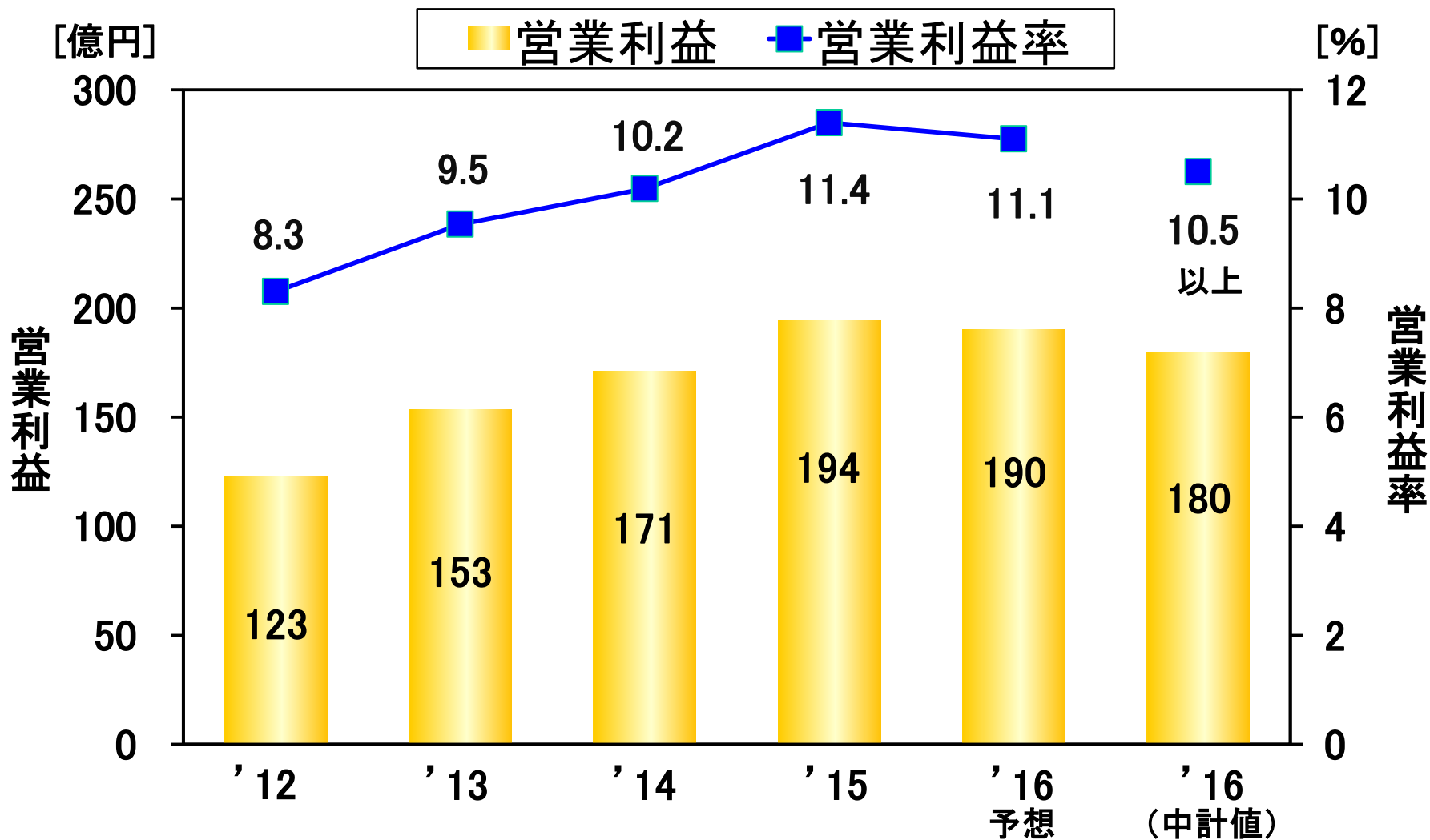
6-1. 2016中計 最終年度業績予想

[単位:億円、%]

	'14年度 実績	'15年度 実績	'16年度 予想	'16年度 中計値
売上高	1,677	1,705	1,710	1,700
営業利益	171	194	190 ¹⁾	180
売上高営業利益率	10.2	11.4	11.1	10.5以上
ROA	6.3	6.9	6.9	6.3
ROE	9.7	10.2	10.0	9.4

※1)セグメント別未配賦経費を含む

6-2. 営業利益・営業利益率の推移



- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 (IR室 石垣、鶴見)
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話 : 03-5424-6651
F A X : 03-5424-1482
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>